

①	名称	思川開発事業	
②	水系	利根川水系	
③	建設予定地	右岸：栃木県鹿沼市	
		左岸：栃木県鹿沼市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画（事業実施計画、全体計画）の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成6年度	
		変更1：平成12年度	
		変更2：平成14年度	
		変更3：平成20年度	
⑦	総事業費	約	1,850 億円
⑧	総貯水容量	51,000 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持75.74%、水道用水24.26%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大2.984m3/s	
		栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、五霞町、埼玉県、北千葉広域水道企業団	
⑪	事業費の内訳	工事費	825 億円
		測量及び設計費	215 億円
		用地及び補償費	505 億円
		上記以外	305 億円
⑫	予算執行状況	737 億円	
	進捗状況	40 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	56 億円
		平成17年度	62 億円
		平成18年度	72 億円
		平成19年度	70 億円
		平成20年度	91 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	転流工工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	97 %
		関連工事	7 %
		転流工	35 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	80 戸
		移転済み戸数	80 戸
		移転終了(完了)年度	H20

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年9月末時点の進捗率。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

① 名称	滝沢ダム建設事業	
② 水系	荒川水系	
③ 建設予定地	右岸:埼玉県秩父市	
	左岸:埼玉県秩父市	
④ 直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤ 目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
⑥ 基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
	当初:昭和51年度	
	変更1:平成10年度	
	変更2:平成17年度	
⑦ 総事業費	約	2,320 億円
⑧ 総貯水容量	63,000 千m <sup>3</sup>	
⑨ アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持54.7%、水道用水45.1%、発電0.2%	
⑩ 開発水量	(水道用水)最大4.6m <sup>3</sup> /s	
	埼玉県、東京都	
⑪ 事業費の内訳	工事費	1,173 億円
	測量及び設計費	217 億円
	用地及び補償費	517 億円
	上記以外	413 億円
⑫ 予算執行状況	2,256 億円	
⑫ 進捗状況	97 %	
⑬ 過去5年間に支出された予算	平成16年度	80 億円
	平成17年度	60 億円
	平成18年度	40 億円
	平成19年度	50 億円
	平成20年度	8 億円
⑭ 完成予定年度	H22	
⑮ 進捗段階	本体工事	
	調査・地元説明	
⑯ 各段階における進捗率	用地買収	100 %
	関連工事	100 %
	転流工	100 %
	本体工事	100 %
	移転予定戸数	112 戸
⑰ 家屋移転	移転済み戸数	112 戸
	移転終了(完了)年度	H9

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものであ

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	武蔵水路改築事業	
②	水系	利根川水系・荒川水系	
③	建設予定地	埼玉県行田市、鴻巣市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	内水排除及び河川浄化用水、水道用水、工業用水の導水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成21年度	
⑦	総事業費	約	700 億円
⑧	総貯水容量	—	千m <sup>3</sup>
⑨	アロケーション	内水排除等47.1%、水道用水49.8%、工業用水3.1%	
⑩	開発水量(導水量)	(水道用水)最大32.974m <sup>3</sup> /s	
		東京都、埼玉県	
		(工業用水)最大2.080m <sup>3</sup> /s	
		東京都、埼玉県	
⑪	事業費の内訳	工事費	480 億円
		測量及び設計費	60 億円
		用地及び補償費	30 億円
		上記以外	130 億円
⑫	予算執行状況	68 億円	
	進捗状況	10 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	2 億円
		平成17年度	2 億円
		平成18年度	2 億円
		平成19年度	2 億円
		平成20年度	5 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	既存施設の機能増強	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	— %
		関連工事	— %
		転流工	— %
		本体工事	— %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	0 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	—

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである  
・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	木曾川水系連絡導水路事業	
②	水系	木曾川水系	
③	建設予定地	【上流施設】	
		岐阜県 揖斐郡揖斐川町、揖斐郡大野町、本巣市 岐阜市、各務原市、関市、加茂郡坂祝町	
③	建設予定地	【下流施設】	
		岐阜県 羽島市、海津市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	流水の正常な機能の維持、水道用水、 工業用水の導水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画) の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成20年度	
⑦	総事業費	約	890 億円
⑧	総貯水容量	—	千m3
⑨	アロケーション	流水の正常な機能の維持65.5%、水道用水30.0%、 工業用水4.5%	
⑩	開発水量(導水量)	(水道用水)最大3.3m3/s	
		愛知県、名古屋市	
		(工業用水)最大0.7m3/s	
		名古屋市	
⑪	事業費の内訳	工事費	726 億円
		測量及び設計費	58 億円
		用地及び補償費	8 億円
		上記以外	98 億円
⑫	予算執行状況	36 億円	
	進捗状況	4 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	—
		平成17年度	—
		平成18年度	6 億円
		平成19年度	15 億円
		平成20年度	10 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	(調査中)	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	—
		用地買収	— %
		関連工事	— %
		転流工	— %
		本体工事	— %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	(未定) 戸
		移転済み戸数	0 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したもの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年9月末時点の進捗率。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

①	名称	川上ダム建設事業	
②	水系	淀川水系	
③	建設予定地	右岸：三重県伊賀市	
		左岸：三重県伊賀市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水、発電	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成4年度	
		変更1：平成11年度	
⑦	総事業費	約	850 億円
⑧	総貯水容量		33,000 千m3
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持70.6% 水道用水29.1%、発電0.3%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大1.111m3/s	
		三重県、奈良県の諸都市、西宮市	
⑪	事業費の内訳	工事費	382 億円
		測量及び設計費	83 億円
		用地及び補償費	253 億円
		上記以外	132 億円
⑫	予算執行状況	564 億円	
	進捗状況	66 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	9 億円
		平成17年度	9 億円
		平成18年度	10 億円
		平成19年度	13 億円
		平成20年度	25 億円
⑭	完成予定年度	H16	
⑮	進捗段階	転流工工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	99 %
		関連工事	86 %
		転流工	67 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	42 戸
		移転済み戸数	42 戸
		移転終了(完了)年度	H15

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)
- ・転流工：転流工の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	丹生ダム建設事業	
②	水系	淀川水系	
③	建設予定地	右岸：滋賀県伊香郡余呉町	
		左岸：滋賀県伊香郡余呉町	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初：平成5年度	
		変更1：平成13年度	
⑦	総事業費	約	1,100 億円
⑧	総貯水容量		150,000 千m3
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持54.8%、水道用水45.2%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大3.230m3/s	
		京都府、大阪府、阪神水道企業団	
⑪	事業費の内訳	工事費	733 億円
		測量及び設計費	78 億円
		用地及び補償費	229 億円
		上記以外	60 億円
⑫	予算執行状況	554 億円	
	進捗状況	50 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	4 億円
		平成17年度	4 億円
		平成18年度	4 億円
		平成19年度	4 億円
		平成20年度	4 億円
⑭	完成予定年度	H22	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	77 %
		関連工事	44 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	45 戸
		移転済み戸数	45 戸
		移転終了(完了)年度	H9

注1)：「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2)：「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3)：「⑫進捗状況」＝「⑫予算執行状況」／「⑦総事業費」を示したものの。

注4)：「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5)：「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6)：「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収：水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事：付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7)：「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

①	名称	小石原川ダム建設事業	
②	水系	筑後川水系	
③	建設予定地	右岸:福岡県朝倉市	
		左岸:福岡県朝倉市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成17年度	
⑦	総事業費	約	1,960 億円
⑧	総貯水容量		40,000 千m <sup>3</sup>
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持88%、水道用水12%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大0.65m <sup>3</sup> /s	
		福岡県南広域水道企業団、朝倉市、うきは市、黒木町、みやま市	
⑪	事業費の内訳	工事費	1,239 億円
		測量及び設計費	148 億円
		用地及び補償費	281 億円
		上記以外	293 億円
⑫	予算執行状況	203 億円	
	進捗状況	10 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	8 億円
		平成17年度	8 億円
		平成18年度	9 億円
		平成19年度	17 億円
		平成20年度	72 億円
⑭	完成予定年度	H27	
⑮	進捗段階	生活再建工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	37 %
		関連工事	2 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	36 戸
		移転済み戸数	3 戸
		移転終了(完了)年度	(未定)

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

- ・平成21年9月末時点の進捗率。
- ・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。
- ・用地買収:用地補償面積(実績面積/計画面積)
- ・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年9月末時点の進捗。

①	名称	大山ダム建設事業	
②	水系	筑後川水系	
③	建設予定地	右岸:大分県日田市	
		左岸:大分県日田市	
④	直轄・補助ダム区分	水資源機構	
⑤	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水	
⑥	基本計画(事業実施計画、全体計画)の策定の有無、計画の策定・変更年度	策定済	
		当初:平成4年度	
		変更1:平成11年度	
		変更2:平成17年度	
⑦	総事業費	約	1,400 億円
⑧	総貯水容量	19,600 千m3	
⑨	アロケーション	洪水調節・流水の正常な機能の維持61.3%、水道用水38.7%	
⑩	開発水量	(水道用水)最大1.31m3/s	
		福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団	
⑪	事業費の内訳	工事費	678 億円
		測量及び設計費	153 億円
		用地及び補償費	300 億円
		上記以外	269 億円
⑫	予算執行状況	751 億円	
	進捗状況	54 %	
⑬	過去5年間に支出された予算	平成16年度	22 億円
		平成17年度	22 億円
		平成18年度	36 億円
		平成19年度	26 億円
		平成20年度	57 億円
⑭	完成予定年度	H24	
⑮	進捗段階	本体工事	
⑯	各段階における進捗率	調査・地元説明	-
		用地買収	100 %
		関連工事	90 %
		転流工	100 %
		本体工事	60 %
⑰	家屋移転	移転予定戸数	55 戸
		移転済み戸数	55 戸
		移転終了(完了)年度	H21 予定

注1):「⑦総事業費」と「⑪事業費の内訳」の合計は四捨五入により一致しない場合がある。

注2):「⑫予算執行状況」は平成20年度迄の金額。

注3):「⑫進捗状況」=「⑫予算執行状況」/「⑦総事業費」を示したものの。

注4):「⑬過去5年間に支出された予算」に記載している金額は、公共費を示す。

注5):「⑮進捗段階」は、H21.12.25大臣会見資料より記載。

注6):「⑯各段階における進捗率」は、現段階までの進捗率を以下の方法により算出したものである。

・平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。

・数値での表現が困難な項目は、「-」としている。

・用地買収:水没用地に係わる用地補償面積(実績面積/計画面積)

・関連工事:付替道路・鉄道延長のうち対象とする工事の延長(実績延長/計画延長)

・転流工:転流工の延長(実績延長/計画延長)

・本体工事:堤体積(実績盛立量またはコンクリート打設量/計画盛立量またはコンクリート打設量)

注7):「⑰家屋移転」の移転済み戸数は、平成21年度当初予算執行ベースの予定進捗。